

第1回小布施町立保育所等整備検討委員会 議事録

令和6年10月28日(月)

時間 19:00~20:30

場所 小布施町公民館講堂

[出席者]

わかば保育園保護者会長 月岡氏
認定こども園栗ガ丘幼稚園保護者会長 川上氏
中条自治会長 竹内氏
松村自治会長 久保田氏
雁田自治会長 呉羽氏
小布施町デザイン委員会委員 新氏、見海氏、永井氏
民生児童委員会会長 土屋氏
一般社団法人信州子育てみらいネット代表理事 山岸氏
小布施学園コミュニティ・スクール運営委員会会長 原氏

[事務局]

町長 桜井
教育長 山崎
子ども課 課長 益満
子ども課子ども家庭支援係 係長 関口
子ども課子ども家庭支援係 岡田、武井
栗ガ丘幼稚園 八代(園長代理)
つすみ保育園長 市川
わかば保育園長 佐藤

1. 開会
2. 町長挨拶
3. 委嘱
4. 自己紹介
5. 委員長等の選出

委員長：新氏、副委員長：土屋氏

6. 協議事項

- 1) 町立保育所等の現状について(事務局)
- 2) 町立保育所の建替えについて(設計者)
- 3) 質疑

・わかば保育園南側にある共選所には物品が多く保管されているため利用するには物品の移動や保管場所の確保が必要となる。(委員)

→現時点では比較検討の工期工費にはそれらの内容は考慮していない。(設計者)

・現在のつすみ保育園の敷地を広げる等でわかばとつすみを集約して建設することは考えているか。(委員)

→近隣との調整や申請が必要のため、現時点では拡張は考えていない。(事務局)

・町内の別敷地に移設することは考えられるか。(委員)

→現敷地での建替えを前提に検討を開始。現時点では候補地は考えていない。(事務局)

・「町立」にこだわる理由を教えてください。(委員)

→基本、町での運営を考えているが、民間運営の可能性はゼロではない。(事務局)

←民間だと対応が早いと考えるため視野に入れてほしい。(委員)

・未満児や病児保育の受入が不足している。対策等はあるか。(委員)

→保育士の人数により子どもの受入れ数変動することや保育室の不足により調整せざるを得ない状況となっている。新施設の整備ではそこを改善して対応していきたい。(事務局)

・長野市等には学童と一緒にいる保育施設がある。南信にはデイサービスと一体的になっている所もあり、用途を複合させる考えはあるか。(委員)

→町の総合計画にも統合化及び複合化の計画があるため選択肢としては考えられる。しかし、現時点では具体的な考えはない。(事務局)

・人口減少を鑑みて、つすみとわかばの統合を視野に入れた方が良いのではないか。(委員)

→現在では民間の宅地造成が進んでいるため人口減少が抑えられているが、まずは町として人口減少を抑える策を総合計画にて検討していく。(事務局)

→宅地造成が進む中、「1 学年 100 人」が本当に目指す目標にすべきか再考中。(事務局)

・**保育園建設のマスタースケジュールを教えてください。(委員)**

→令和 7 年度に設計、令和 10 年度の開園を目標としているが、敷地拡張や購入等を考慮すると開園時期が延長する可能性もある。(事務局)

4) ワークショップ

【A グループ】

- ・長野県で一番魅力ある保育園にしたい
- ・英語教育などを受けられる環境
- ・ビオトープ等の自然環境がほしい
- ・町営グラウンド等の敷地を使えないか
- ・広い駐車場の整備
- ・おいしい給食の提供
- ・プールのシャワーを温水としてほしい

【B グループ】

- ・北側園庭は雪が融けづらいため南側園庭としたい
- ・保育園以外の用途を入れた複合施設
- ・200 人規模は管理が大変
- ・近くに公園がほしい
- ・送迎はバスも視野に入れたい
- ・作業療法士等の医療職や地域コーディネーターがほしい

【C グループ】

- ・広い敷地が必要
- ・2 つ統合した大きな園をつくりたい
- ・安心安全の施設づくり
- ・設定条件から考えていきたい

※他協議内容は別紙まとめ資料による

7. 閉会

8. 次回検討委員会

第2回検討委員会 11月25(月) 19:00~20:30 小布施町役場 講堂